



# OITA ROTARY CLUB WEEKLY

## 第28回例会 2023年4月4日 No. 3450

例会／毎週火曜日 12:30 トキハ会館4F  
会長 杉原正晴／幹事 山本舜治

(食事 12:20~12:40)

点 鐘	12時30分
国 歌	君 が 代
ロータリーソング	奉仕の理想
ゲスト・ビジター紹介	杉原会長
会長の時間	杉原会長
出席及び幹事報告	山本幹事
委員会報告	関係委員長
ニコボックス	森若S.A.A.

### 今週のお祝い

出席100%	阿部 成善会員 33年
	仲摩 和雄会員 8年
会員誕生日	仲摩 和雄会員 4月 8日
	中村 直樹会員 4月10日

### 卓 話 13:00

RI 第2720地区 職業奉仕部門出前セミナー  
「『職業奉仕とロータリー』  
～我々はロータリアン！  
職業倫理を広めよう～」

RI 第2720地区 2022-2023年度  
職業奉仕部門長 木下 修 氏(熊本RC)

### 第27回 3月14日 例会記録

出席報告	
会員総数	51名
(免除会員)	(4)
出席総数	36名
(免除会員)	(0)
出席率	76.60%
ゲスト	1名
ビジター	6名
2月28日 修正出席率 100%	

### 会長の時間 杉原会長

本日の会長の話は、私が大分交通に入社した当時の話をします。

平成11年4月、私は総務部長として大分交通に入社しました。当時、主力のバス事業のほかベスト電器のフランチャイズ店としての家電販売事業、ドコモ携帯販売事業、システム開発事業、九重ハイランドホテル、アフラック保険代理店、広告事業、ピアガーデン、宝石他販売などを行っており、売上こそ80億程度ありましたが、営業損益、経常損益ともずっと赤字で国県からのバス事業に対する補助金を加え、グループ会社との間で土地の売買など決算対策を行って当期利益を百万円にもっていくという決算をずっと続けていました。問題は色々ありましたが、大きな問題点は、まず第1に各事業別の正確な原価計算ができておらず、損益予想など管理会計ができていない。従って各事業の本当の実力が闇に隠れて分らなくなっている。第2に家電販売やホテル事業など明らかに限界利益さえ出していない不採算事業に対する対策が打たれていない。第3に金融機関からの借入金で70億近くになっており、売上規模に対し異常に大きい。等でした。

このような問題点を解決するためには、私が経理担当部長になる必要があると考え、まず大幅な会社の機構改革を立案しました。社長室、企画開発部、総務部、経理部と4部門あった管理部門を統合して管理部とし、私が部長となりました。当時会長の小野浩さんは家内の父親でしたので直接この機構改革案を提言し翌平成12年7月1日付で実行しました。部長人事は会長マターでしたので、すんなり私が初代管理部長になりました。

この機構改革の直前、5月頃に当時のメインバンクであった興銀に11年度決算の説明を行ったところ、興銀からかなり厳しいことを言われ、私はその場に立会っていないので詳しくは分かりませんが、現状の経営状況のままでは、今後の融資を考えざるを得ないといった内容でした。メインバンクからこのように言われると他の銀行も追随し、大分交通も倒産の危機にあったのでした。そういった意味では、前述の機構改革はぎりぎりのタイミングであったように思えます。

又、平成12年度には企業会計基準が大幅に変更になりました。即ち、厳格な減損会計、退職給付会計基準変更等の導入です。12年度決算では退職給付債務関係だけで13億円、有価証券評価損、グループ会社への貸倒引当金など総額19億円の特別損失を計上しました。

大分交通は有価証券報告書提出会社でありましたので、公認会計士の会計処理承認が必要でしたが、新会計基準導入に伴い従来のS先生とF先生が手を引かれトーマツ監査法人に変わっていました。このトーマツさんが情け容赦のない極めて厳格な会計処理を指導し何でもかんでも減損させられていったように思います。トーマツのあまりのやり方に何回も議論を戦わせましたが、聞き入れられず結局3年であらず監査法人に変更しました。当時決算説明を小野会長にした時「社員が一度に全員退職することなどありえないのに、何故自己都合退職金の金額を引き当てしなければならないのか」と詰問され、うまく答えられませんでした。私自身も納得していなかったからです。退職給付債務に関しては、何年かに分割して計上することも可能でしたが、過去の膿を一気に出すとの考えで12年度に一括計上しました。結果、12年度は18億円の赤字決算となり、興銀はじめ各金融機関に対する決算説明は苦勞しましたが、概ね了解頂きほっとしたのを覚えています。これ以降様々な不良資産、事業の整理に取り掛かりますが、それは又別の機会に。本日の会長の話で終わります。

## 幹事報告

山本幹事

### 1. ロータリー活動におけるマスク着用について

3月13日から、R I 第2720地区においても、マスク着用に関して厚生労働省の方針を参考にし、対応していくことが推奨されます。

大分ロータリークラブでも第14回理事会にてアクリル板の廃止、消毒や体温計測は実施せず、例会中のマスク着用についても個人判断とすることが承認されました。また、メーカーについて本日も、3月14日(火)から例会欠席の場合は細則に従って例会の前後14日以内に行ってくださいようお願いします。

### 2. 大分城西ロータリークラブより「おおいたアニマルミーティング」開催のご案内

2023年4月9日(日)にペットマナーや動物愛護・アニマルウェルフェアなど、身近な動物を取り巻く現在の問題点を啓蒙するための活動が開催されます。(パンフレット配布)

### 3. くにさきロータリークラブ創立40周年記念式典のご案内

日時：2023年6月4日(日)

式典 13:00~14:30

記念講演 14:45~15:45

会場：ホテルベイグランド国東

## 大分東RCより創立60周年記念式典・祝賀会のお礼

大分東RC 菅雅幸会長、安藤暢啓幹事よりお礼のご挨拶をいただきました

## 委員会報告

### ●家族旅行のご案内

クラブ管理運営委員会 小野委員長

日時 2023年5月14日(日)

行先 西日本工業倶楽部(旧松本邸)ほか

※詳細はご案内文書をご覧ください。

## 退会者挨拶

飯田恭久会員、石井雄三会員より退会挨拶をいただきました

## 卓話

“コロナ禍を経たインバウンド観光の再開と大分県での高付加価値旅行の取り組み”

日本政府観光局 理事 遠藤 克己 氏

### 1. 日本政府観光局(JNTO)とは?

○1964年に、訪日外国人旅行者の来訪促進のため

に政府により設置された独立行政法人。本部は東京、世界25都市に事務所を構える。

○インバウンドマーケティングの調査・戦略策定、全世界に対する情報発信、旅行会社・航空会社による訪日商品造成支援、MICE誘致、自治体・DMO等のインバウンド業務支援・コンサルティングを実施。

### 2. インバウンド観光の重要性

—人口減少・少子高齢化社会の到来

・今後、人口減少が進み、2052年には1億人程度となる見通し。

・これにより、2050年までに、国内の消費額が30兆円以上消滅する見込み。

(1人当たりの年間消費額の平均を130万円と仮定した場合)

—観光産業のインパクト

・世界全体のGDP総額の10% (直接・間接・誘発的影響を含む)

・10人に1人を雇用

・世界総輸出の7% 1.4兆米ドル

(出典：世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)、UNWTO)

・2019年の観光分野の旅行消費額は、27.9兆円(2020年は11兆円)

・観光は裾野が広い分野。生産波及効果は55.8兆円、国内総生産の約5%を占める。

—訪日外国人観光客による経済効果(2019年)

定住人口1人当たりの消費額

=国内旅行者(宿泊) 23人分

1人1回あたり旅行支出 55,054円

=国内旅行者(日帰り) 75人分

1人1回あたり旅行支出 17,334円

=訪日外国人観光客 8人分

1人1回あたり旅行支出 158,531円

(出典：観光庁「観光を取り巻く現状及び課題等について」令和3年11月25日)

### 3. インバウンドにおけるこれまでの経緯と最近の動向

—訪日外国人旅行者数の推移

・2003年にVisit Japanを開始し、2019年には過去最高となる3,188万人を記録。

・新型コロナウイルスの感染拡大により2020年には412万人、2021年には25万人までに減少。

・2022年10月に訪日観光が本格再開し、2022年は12月に1,370,000人が入国するなど、1~12月で約383万人まで増加。

#### 4. インバウンド観光の可能性と課題

—主要国における日本の「観光地」としての人気旅行・観光競争力ランキングで日本が初めて首位に

- ・世界経済フォーラム（WEF）の2021年の旅行・観光競争力ランキングで日本が初めて首位
- ・評価点：ホテルなど観光客向けインフラや観光資源の豊富さ

1位	日本	2位	アメリカ
3位	スペイン	4位	フランス
5位	ドイツ		

（出典：World Economic Forum Travel & Tourism Development Index 2021）

—2023年訪れるべき観光地に選出された地域「そこでしかできない特別な体験」のある地域が選出

○Travel+Leisure 2023年訪れるべき観光地50に京都が選出

- ・「コロナ後、祇園祭や京都五山送り火などの伝統的なお祭り・イベントなどが再開」
- ・「町屋を改装した旅館、国際的なホテルグループによる複数のラグジュアリーホテルが、京都中心部に新規開業」

○Conde NAST Traveler 2023年訪れるべき観光地23に西日本が選出

- ・「仏のラグジュアリークルーズ会社による探検クルーズや、禅をテーマにしたウェルネスリゾートが新規開業（瀬戸内）」
- ・「世界的な建築家・芸術家による美術館や、プライベート温泉付きのアートハウスの開業（九州）」

○Lonely Planet 2023年訪れるべき観光地（食部門）に福岡が選出

- ・「屋台や世界的に有名な博多ラーメン、もつ鍋、焼酎などの多様な食の魅力」
- ・「グルメだけでなく、天神地下街などショッピングなども楽しむことができる」

○New York Times 2023年訪れるべき観光地52に盛岡・福岡が選出

- ・盛岡「見過ごされがちだが、大正時代の建築物や近代的なホテル、歴史のある旅館、城跡にある公園なども魅力」
- ・福岡「中洲を中心にラーメン、焼き鳥だ

けでなくワイン、コーヒーなど多様な屋台を楽しむことができる」

—インバウンドにおける課題

- ①都市部と地方部の誘致の差
- ②訪日旅行消費額の伸び悩み
- ③環境に優しい観光の実現
- ④多言語対応

#### 5. コロナ後のインバウンド観光

①サステナブル・ツーリズム

サステナブル・ツーリズムの定義（UNWTO）訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の「環境」「社会文化」「経済」への影響に十分配慮した観光

②アドベンチャートラベル

「アクティビティ」「自然」「文化体験」のうち、最低2つを含む旅行

③高付加価値旅行

1回の旅行で1人100万円以上の着地消費をする層をターゲットに設定  
高品質なサービスをベースとしつつ、個別対応（プライベート）、特別感（エクスクルーシブ）という言葉がキーワードとなっている。  
富裕層が一般層に比べ顕著に高いのはスポーツ（アウトドア）、異文化体験、ウェルネスの追求。

#### 6. 別府観光案内所の取り組み

- ・案内所内配布マップの充実（スタッフ作成）
- ・案内所スタッフの多言語化—英語の他、韓国語、中国語に対応できるスタッフも配置
- ・案内所スタッフ向け大分県の魅力発見研修
- ・コロナ禍の2年間で、大分県内14箇所の市町村での実地研修を実施。研修後、スタッフによるおすすめ情報マップを制作。

#### バナー交換

R I 第2790地区 八千代中央ロータリークラブ 幹事 田代充様がビジター出席され記念のバナー交換をしました。



## ●武石 誠二会員（2口）

今度当社のリフレッシュコーナーに福利厚生の一環として漫画文庫を設置しようと考えています。

つきましては、現在読みたい漫画について社員全員にアンケート調査をするとともに、漫画本の寄贈をお願いしているところです。

そのような中、先日ローターアクトとの懇談会で三又会員の自宅にもたくさんの本があるとお聞きし、厚かましくお願いしたところ、150冊もの本を今回提供して頂きました。

三又会員への感謝を込めて2口申請します。

## ●石井 雄三会員（2口）

3年間お世話になりありがとうございました。コロナ禍でしたが、大分の良いところを満喫いたしました。

4月からは大阪本社へ赴任いたします。

大分ロータリークラブそして皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

## ●飯田 恭久会員（2口）

私の父親も長らくお世話になった、伝統ある大分RCに在籍できた事を大変嬉しく思います。大分在任中の皆様のご厚情に感謝申し上げますと共に、大分RCの益々のご発展を祈念いたします。本当にありがとうございました。

## お知らせ

## ■4月14日(金)～16日(日) 地区大会

14日 RI会長代理歓迎晩餐会 ホテル日航熊本

15日 本会議 人吉スポーツパレス

希望交流会 人吉温泉清流山水花あゆの里  
ホテルサン人吉

16日 ゴルフコンペ 球磨カントリー倶楽部

エクスカッション 人吉近郊

杉原会長、馬場副会長、山本幹事

## 例会予定

4月11日(火) 新会員歓迎夜の例会 18:30点鐘

4月18日(火) 木村会員卓話

4月25日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

5月2日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

5月9日(火) 新・旧クラブ協議会

5月16日(火) 福井RC来訪例会

5月23日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

5月30日(火) 新年度クラブ協議会

6月6日(火) 通常例会

6月13日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

6月20日(火) 通常例会

6月27日(火) さよなら夜の例会 18:30点鐘

## 例会変更

クラブ名	開催日	会場
大分1985	4/10(月)	トキハ会館
大分城西	4/19(水)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分南	4/21(金)	トキハ会館
大分東	4/27(木)	トキハ会館

## 週報編集担当者

4月11日号	土屋勝俊
4月18日号	尾野文俊
5月9日号	中村直樹
5月16日号	吉野敏成

## 事務局よりお願い

例会中に委員会報告やその他発表をされた場合は、週報作成の都合上、必ず翌日午前中までに原稿を事務局までメール送信ください。

## 奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ  
御国に捧げん我等の業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて  
永久に栄えよ  
我等のロータリー

## 事務局

大分市府内町1丁目2-15 トキハ会館4F  
TEL 097 (532) 0611 FAX 097 (532) 8386  
E-mail oitarc@mist.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.oita-rc.jp/>